

リアルデコ部材施工要領

ここでは、リアルデコと併用して施工する場合の施工要領を記載しています。

1 下地の調整およびリアルデコ部材(腰見切・巾木)施工用両面テープの貼付け

1 施工下地の確認

壁面および床面の乾燥状態を確認して(目安として、壁面:11%以下、床面:8%以下)から施工を開始してください。湿気を帯びていると、ハガレ・変色や、部材の反り・突上げ等の不具合が発生します。また、下記のような下地では、必ず適切なシーラー処理を行ってから施工を開始してください。

- 合板下地、コンクリート・モルタル下地、ケイ酸カルシウム板下地、金属、漆喰、繊維壁など。
- リアルデコの防火仕上げを必要とする場合。

2 下地の調整

パテ処理を丹念に行ってください。また、パテ処理部には、必ずシーラー処理を行ってください。

注意 リアルデコは下地不陸(凹凸)の調整に充分な配慮が必要です。

3 リアルデコ部材(腰見切・巾木)施工部分への下地処理(捨て糊の塗布)

両面テープを貼付ける箇所に、合成樹脂系接着剤(エチレン酢ビ系ボンドなど)を1~2割の水で希釈して、刷毛・ローラー等を用いて均一に塗布してください。塗布後は、充分に乾燥させてください。

注意 新築石膏ボード以外(合板下地、コンクリート・モルタル下地、他)およびパテ処理部では、必ず捨て糊を塗布してください。捨て糊なしで施工した場合、部材の接着不良を発生させることができます。

4 リアルデコ部材(腰見切・巾木)施工用両面テープの貼付け

リアルデコ巾木を施工する箇所の、床上から3cm程度の位置(下地側)に、腰見切を施工の際は、仕上高さの5mm程度低い位置に施工用両面テープ「WU-TAPE-15」を貼付けてください。

<備考>リアルデコを先に施工してしまうと、でんぶん糊が下地に付着してしまうため、拭取り作業が必要となります。

注意 両面テープは必ず下地に直接貼付けてください。リフォームの場合は、既存の壁紙を裏紙まで全て剥がしきり、必ずシーラーを塗布してください。

注意 両面テープを貼付け後、ローラーを用いて確実に圧着してください。また、この時点では両面テープ表面(リアルデコ腰見切・巾木と接着する側)の紙は剥がさないでください。

2 リアルデコの施工

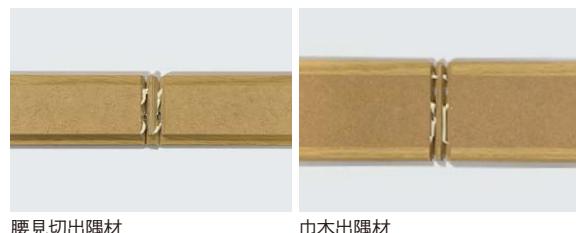
オープンタイムを15~20分程度取ってから施工してください。リアルデコ巾木を施工する部分については、リアルデコを床面から5cm程度の位置で切り落してください。リアルデココーナー材を下地に直接貼付ける場合は、出隅から1.5cmの部分までを残して壁紙を施工してください。また、リアルデコの上からリアルデココーナー材を重ねて貼付ける場合は、必ずリアルデコのジョイントから10cm以上離してください。

3 リアルデコ腰見切出隅材・巾木出隅材の施工

始めに断面部に接着剤を充填し、出隅部分の下地の両面テープの離型紙を剥がして、接着剤を併用して施工してください。

※接着剤は、施工用接着剤「WMPX-1」を用いてください。

※接着剤は、巾木施工の場合は両面テープの上下部分に、腰見切施工の場合は両面テープの上部分にそれぞれ適量を塗布してください。



腰見切出隅材 巾木出隅材

4 リアルデコ腰見切・巾木の施工

リアルデコ腰見切・巾木を必要な寸法に正確にカットした後、両面テープの離型紙を剥がし、必ず接着剤を併用して施工してください。

※接着剤は、施工用接着剤「WMPX-1」を用いてください。

※接着剤は、巾木施工の場合は両面テープの上下部分に、腰見切施工の場合は両面テープの上部分にそれぞれ適量を塗布してください。

※リアルデコ腰見切・巾木を貼付ける際に、接着剤が両面テープ部分に掛からないことを確認してください。

注意 接着剤は壁紙に掛からないよう、必ず下地とリアルデコ腰見切・巾木が接着するように塗布してください。



腰見切施工部 巾木施工部